

JAICOH NEWS LETTER

第39号 2003年1月1日

歯科保健医療国際協力協議会

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

事務局：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-86 TEL&FAX：048-957-2286

発行：深井穂博 編集：沼口麗子 現会員数：245名

巻頭言

こども達にはほほえみを

JAICOH副会長 夏目長門

私は、愛知学院大学口唇口蓋裂センターに勤務しております。

国内の口唇口蓋裂のこどもたちや家族の方々の援助になればと六年間の準備の後、多くの方々のご助力により一九九二年一月に「日本口唇口蓋裂協会」を設立いたしました。

最初は国内のいじめや就職の問題などを中心に活動していく予定でありました。しかし発展途上国では、医療環境や経済的な理由で手術を受けられない多くのごもたちの現状を知り、口唇口蓋裂の手術を中心とした医療援助の必要性を痛感し海外医療活動を開始いたしました。

当初は口唇口蓋裂児の手術を中心とした技術移転を行ってまいりましたが、現在では歯科医学の分野のみならず、産婦人科、耳鼻科、脳外科など医学、歯科医学の多くの専門家の協力を得て活動を行うことができようになりました。

しかし、我が国の経済状況の悪化、また国際社会の急激な変化など、ひとつのボランティア団体のみで対応できない事が多く、情報の交換や協力の重要性を痛感しておりました。

このような中で、JAICOHの

深井穂博会長より、「歯科関係の国際協力に携わる者の意見交換をラウンドテーブル形式で行いましょう」と言われ、二つ返事で参加させていただく事といたしました。

以来、まさに時流に合った、最も必要と考えられるその提案に、私も賛同して参加させていただいております。

JAICOHは歯科医学分野の草分け的存在であり、また深井会長となつてからは、自らの海外事業を行わないことを前提にした情報交換に徹する活動方針となりました。それによって、新たな機能機構として、我が国の歯科医療の国際交流に大きく貢献していくと思われまます。このような発想こそがNGOとして、その存在の意義があると確信しております。

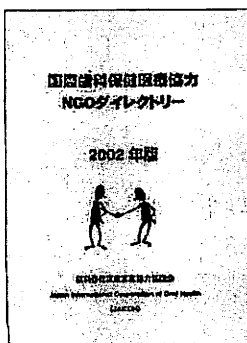
新しい年を迎えるにあたり、会員各位のますますのご活躍を期待しております。

なつめながと▽昭和32年生まれ・昭和60年歯学博士号取得・平成7年医学博士号取得・平成11年愛知学院大学歯学部口腔外科第一講座特殊診療科現任に至る・平成4年日本口唇口蓋裂協会理事現任に至る。東京大学医学部口腔外科学教室非常勤講師。カナダ・タルハウズイ大学客員教授。モンゴル国立医科大学客員教授。ヤンゴン歯科大学客員教授。

国際歯科保健医療協力 NGOダイレクトリー 2002年版 発行のお知らせ

JAICOHではこの度、日本の歯科医療NGOを網羅したダイレクトリー（名簿）を発刊しました。これは、個々の団体の活動を、互いが知り合うことによって、自らの活動を見つめ直し、また連携しあうきっかけとなって、活動の発展に有効な機会を得られることを願ったものです。またこれから活動を始めたいと思っている方々の一助になればと考えました。

ご希望の方は上記事務局までお問い合わせください。



from abroad

広がる歯科ボランティア
JICA医療協力部 小宮愛恵

◆ 現在どのような国際協力を行っているのですか？

二〇〇二年五月、JICA（国際協力事業団）の「スリランカ国ペラデニヤ大学歯学教育プロジェクト」（註）のジュニア専門員として赴任しました。本プロジェクトは、歯学部
の教育システムの向上により、質・量ともに十分な歯科医療従事者が養成されることと、予防教育を含めた口腔保健サービスの向上を目標に行われています。



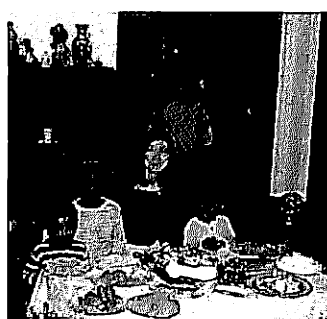
10Wの口唇口蓋裂の患者さんの手術後です。（左が筆者）

今回の私の業務は大きく二つあります。一つは、スリランカ近隣諸国に対する卒業後研修プログラムのカリキュラム作成や運営管理のサポートです。これらは、本プロジェクトによりスリランカ側に技術移転された知識や技術を、今度はスリランカの

歯科医師が、近隣諸国（カンボジア、バングラデシュ、ミャンマー等）に
対して行う研修です。もう一つは、リファラル・システムの構築のため、医療受診者および提供者側のアンケートの調査結果を分析し、診断・治療が適正な場所へ適正に行われるように提言を行うことです。

（註）JICAの資金協力により建設されたペラデニヤ歯学部及び教育病院において、98年〜03年にかけて行われている技術協力。JICAに
唯一の歯学分野関連プロジェクト。◆ジュニア専門員とは？

JICAの専門家の派遣には、関係省庁や大学からなどいろいろな形態があるのですが、今回、私はジュニア専門員の研修の一環として派遣されました。ジュニア専門員とは、専門分野を持ち、将来にわたり国際協力分野での活動を志望する人に対して、JICAが実務に携わる機会を提供するものです。



大家さんの子供の誕生日パーティの様子です。目の前にある食べ物はちょっとしたおつまみのようなものです

◆ 国際協力を志す人々に望む事は？
国際協力とはこういうものだという固定概念を持たず、まずはその国の文化や習慣、社会に心を開いて身を置き、そしてその土地に生きる人々と対話や共同作業を通して、その土地の人々の問題と一緒に対処できるような視点や姿勢をもってほしいと思います。

国際協力に関わるには、上記のようなODAの仕事として関わる場合とNGOや個人のボランティアとして関わる場合など様々な形態があります。自分ができるところから始めてみてはいかがでしょうか？

▼スリランカの気候と小宮さんがお気に入りの食べ物をお教えください
スリランカは熱帯性モンスーン気候で、雨期と乾季があります。赴任先のキャンディは平均二十五度ぐらいです。とても過ごしやすいところです。気に入っている食べ物は、ダール

豆のカリー。米粉が小麦粉を練って、型に通し、そうめんの固まりのようにして蒸したストリング・ホッパーに各種カレーをかけてよく混ぜ合わせて食べるのが絶品。

▼こみやまなえ 97年長崎大歯学部卒業、97〜99年九州大歯学部第一保存科（研修医、医員、臨床登録医）、00年国立公衆衛生院修士修了、01年〜JICAジュニア専門員

JAICOH NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

11か国語対訳 歯科診療会話集
監修 吉田けい子

1ページ1会話文とし、約970の会話表現に「英語/インドネシア語/中国語/ポルトガル語/タイ語/韓国語/アラビア語/スペイン語/ベトナム語/ミャンマー語/シンハラ語」の訳をつけました。

●A5判414P ●定価(本体3,000円+税) ●送料346円

財団法人 口腔保健協会
TEL: 03-3947-8301 FAX: 03-3947-8073

「毎日、毎日……」
「繰り返し、繰り返し」
使いたくなる
ホームケア歯ブラシ

（ホームケア）歯ブラシ 0120-118418
株式会社 永山 FAX 0120-648581

はじめての
コンボジット直接充填!
はじめての1液性セルフ
エッチングプライマー!

ユニフィルF ■長期的なフッ素の徐放。
■ピタシェド9色+A03:CV。

ユニフィルポンド
■混和不要、簡便2ステップ。
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー
DICフリーダイヤル 0120-416480

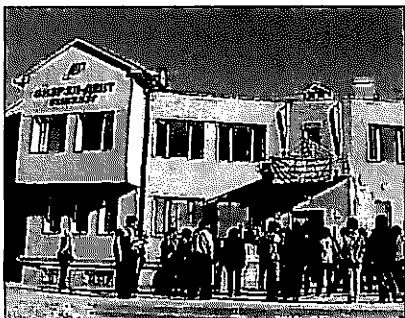
from member
日本モンゴル文化経済交流協会
JAICOH副会長 黒田耕平

モンゴルとの歯科医療交流

一九九一年にモンゴルとの歯科医療交流が始まってから十三年になります。当初より「モンゴル人の健康はモンゴル人自身の手で」と考え、モンゴル厚生省、医科大学との交流を進めてきました。しかし、わずかに四年ほどの間に責任者が五人も変わり、そのたびに引継ぎがなされず振り出しに戻るといふ繰り返しでした。一九九三年からは民間の歯科診療所「エネレル」をウランバートルに開設し、日本で研修を受けたモンゴル人歯科医師を中心に歯科医療と公衆衛生の向上をめざしてがんばって来ました。

今年二〇〇二年五月には歯科診療所専用としてはモンゴル初となる建物を新築しました。診療チェア十八台などの歯科機材のほとんどは日本から持ち込んだものを備えています。スタッフは歯科医師八名と歯科看護婦、歯科技工士、医療事務などの職員二十五名です。そのうち延べ二十七名が日本で研修し、運営の一切はモンゴル人自身が行っています。

予防を中心とした歯科診療だけでなく、幼稚園・学校・施設等での歯



新しいエネレルの建物
地上2階、地下1階で、歯科専用としてはモンゴルで初めての建物となる



予防プロジェクト参加者
21の都道府県から集まった歯科医師、エネレルスタッフ、日本人参加者

科保健予防活動、テレビ・新聞などでの齲蝕予防啓蒙活動、歯科医師・歯科学士の研修受け入れなどにも取り組んでいます。そして、二〇〇〇年より全国二十一年の歯科医師とともに小児の齲蝕検診・保健予防を目的に、エネレルを中心に「歯科疾患予防プロジェクト」を発足しました。これまで首都や一部地方で進めてきた歯科医療交流を全国規模で進め、モンゴル人の健康を守る運動とするためです。

交流の初期には、冗談で「一歩前進二歩後退」と言っていたほど何度も振り出しに戻る経験をしました。しかし、毎年二回の現地へ出かけて活動し、手紙・電話・電子メールでの連絡などを継続して行ってきた結果、最近では色々なところで沢山の成果が得られるようになって来ました。今はエネレルを中心にモンゴル人自身が自立して歯科医療や公衆衛生を実践していけるようになって来ています。

マクロなごつへい 80年 大阪大学歯学部卒業 80年 大阪大学歯学部付属病院小児歯科 医員 83年 神戸医療生協協同歯科 小児歯科 医長 83年 岡山大学歯学部小児歯科学講座 非常勤講師 91年 神戸医療生協 協同歯科 所長 98年 神戸医療生協 歯科部協同歯科、きたすま歯科、いたやと歯科部長

その他：日本モンゴル文化経済交流協会、ひょうご食の研究会幹事、近畿地域野菜応援団監事、歯科保健医療国際協力協議会副会長等 ◆小児・障害者歯科を専門とし、予防を中心とした診療室と、幼稚園・学校・障害者施設等での保健予防活動(一年間に一三〇回を超える)、大阪や高知の障害者歯科診療に非常勤で出かけるなどいつもばたばたと飛び回っています。さらに、91年からモンゴルとの歯科医療協力にかかわり、本来の協同歯科に落ち着けないのが悩みです。

JAICOH NEWS LETTERは、下記各社のご協力を得て作成されております

世界の
歯科医療に貢献する

歯は幸せへの序章

きれいにそろった歯は、まさに健康へのゲートであり、幸福のシンボルです。いくつになっても、さわやかな笑顔で人生を楽しく過ごしていただきたい。歯科医療に関わるものとして、松風の究極の目標はそこにあります。

株式会社 松風

〒330-0801 茨城県水戸市水戸5-1-1 TEL:0286-211212

むし歯の新しい処置と予防 全4巻

監修 長崎大学歯学部 齋藤一

- Ⅰ.むし歯ってどうしてできるの?
- 脱灰と再石灰化のはなし
- Ⅱ.おうちでできるむし歯予防
- 脱灰をふせぐセルフケア
- Ⅲ.むし歯のはじまり(脱灰)の処置
- プロフェッショナルケア
- Ⅳ.上手につかっってむし歯予防
- 再石灰化をたすける物質

各巻定価 (本体12,000円+税)
4巻セット定価 (本体45,000円+税)

株式会社 デンタルダイヤモンド社
〒105-8554 東京都千代田区神田保町1-14-13 第三ビルビル
TEL:03-5571-2571 FAX:03-5571-0127 <http://www.dental-diamond.co.jp/>

精度と信頼
PRECISION & RELIABILITY

ナカニシの製品は、
世界120ヶ国以上で
愛用されています。

NSK 株式会社 ナカニシ

〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700
TEL:0289-64-3380 FAX:0289-62-5636
<http://www.nsk-nakanishi.co.jp>

tuv
ISO 9001
ISO 14001

from student

「国際保健学生フォーラム」の紹介
東京歯科大学 門井謙憲

国際保健を学ぶ上で、医療従事者としての経験や知識だけでは足りません。途上国医療の実態をふまえ、その背景・解決策を考えるとき、その国の時代背景、政治状況、経済、宗教、文化などを考慮に入れなければなりません。

学生同士で、国際保健・国際協力を考え、情報交換・意見交換を目的に、学部の枠を取り払ったネットワークとして、「国際保健学生フォーラム」は七年前に設立しました。メーリングリストで意見交換、ウェブサイトで情報発信の他に、国際保健勉強会を定期的（月一回程度）に実施しております。

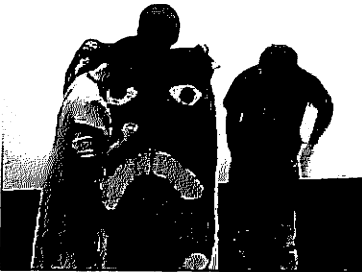
現在は、関東エリア、東北エリア、九州エリアの各地域ごとと別れ、大学生自身が講師となつて、海外に出かけた報告をしたり、厚労省やJICA、各NGOなどで現地です事された方をお呼びしてお話を伺ったり、ディスカッションを行っています。また、勉強会では今年度から、国際協力、緊急援助をテーマにワークショップを行っています。

勉強会のメンバーには、医療系学生が多いのですが、その中に歯科学

生はほとんどいません。歯科における国際保健・国際協力は、まだまだ認知されていないためでしょうか。

僕自身は歯科学生ですが、勉強会に参加しているときは「歯科」には全くこだわっておらず、二十一世紀の医療に携わる者として学んでいきます。多くの歯科学生もそのような気持ちでどんどん参加して見聞を広めていって欲しいと思っています。

▽かどいかねのり 79年名古屋市生まれ。96年高校在学中に名古屋大学大学院多元数理科学研究科入学（科目等履修生特別枠）98年東海高校卒業。99年東京歯科大学入学。国際医療研究会入会。02年国際医療協力歯科学生通信設立。現在、東京歯科大学四年。高校時代に、阪神大震災や日本海重油流出事故、有珠山爆発などでボランティア活動を行う。00年12月に、JAICOHから助成を受け、ミャンマースタディツアーを主催。



フォーラム勉強会の一幕

「フォーラム」へのお問い合わせ、参加希望の方は以下のURL
<http://square.umin.ac.jp/forum/>
または門井の電子メールアドレスまで
kanenori@kadoi.net

新NPO団体設立

「歯科医学教育国際支援機構」

NPO法人設立シンポジウム開催
二〇〇二年十二月八日（日）、東京青海フロンティアビルにおいて、標記シンポジウムが開催されました。

基調講演は、「歯科医学教育国際支援機構」代表の宮田隆氏が行いました。講演に併せて、本会設立までの経過と活動理念について説明され、特に途上国における歯科医師養成に係わる教育支援の重要性が訴えられました。

その後、河合良明氏「開業医でもできる国際ボランティア」▼日本大
学松戸歯学部国際保健部「歯学生による途上国への国際ボランティア」
▼椿井孝芳氏「インドネシアにおける歯科事情」▼森本基氏「国際ボランティアと歯科医学」の各講演が行われ、ディスカッションが行われました。

本NPO法人の活動項目は、歯科医療に恵まれない国々および地域の歯科医学教育の支援のための、1・マンパワー支援、2・教育支援、3・教材・教育資料支援、4・学術支援、以上の四つのプロジェクトからなります。

同団体の今後の活動が期待されます。

JAICOH学生研修会

日時：2003年4月13日（日）13:00～

場所：「東京国際交流館」プラザ平成 4階 会議室4

〒135-8630 東京都江東区青海2-79

「東京国際交流館」→ <http://www.tap.aiej.or.jp/index1.asp>

会費：500円

◆◆◆懇親会はバーベキューです◆◆◆

ご協力いただいております

スーパーボンドは、
1982年に発売以来
基本組成を全く
変えておりません。

矯正に、補綴物の装留に
動揺歯の固定に
支台築造に、垂直破折歯の保存に
生活象牙質切削面の保護に

信頼と実績の
多目的歯科用接着材料

スーパーボンド

サンメディカル株式会社

フリーダイヤル：0120-418-303

URL: <http://taihei.co.jp/sunmedical/>